

令和5年度 三ツ境支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	服務規律について理解を深め、不祥事を防止する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施した。神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針をもとに、服務について理解を深めた。コンプライアンスマニュアルの改訂を受けて、全職員に周知し理解を深めた。不祥事防止標語を作成し、職員室に掲示して不祥事防止に対する意識の向上を図った。綱紀保持の通知があった際には、時機を逃さず確実に周知し、注意喚起した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場のハラスメントについて理解し、ハラスメントのない職場づくりをすすめる。	不祥事防止職員啓発・点検資料、職場のハラスメント防止リーフレットを活用した研修を実施した。職員同士のコミュニケーションの取り方について演習し、ハラスメント防止についての理解を深めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為について理解し、児童・生徒の人権を尊重した適切なかかわりの充実を図る。	人権研修会を実施し、児童生徒の人権尊重について理解を深めた。綱紀保持の通知を受けて、不祥事防止に向けた教育長メッセージを全職員に周知し、わいせつ・セクハラ行為の防止に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導について理解し、児童・生徒の人権を尊重した適切なかかわりの充実を図る。	不祥事防止職員啓発・点検資料と「体罰防止ガイドライン」等を活用して、不祥事防止研修を実施した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	児童・生徒の学習、進路選択と決定に影響する重要な業務であることを自覚し、適切な処理を行う。	入学者選抜の業務マニュアル等を入学者選抜要綱等に沿って検証し、入学者選抜を実施した。個別教育計画等の作成と管理については、業務マニュアルを検証し、点検方法と管理の改善を図った。進路関係の書類は、内容の点検と管理を確実に行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の紛失・誤廃棄、誤配付・誤送信などの事案を未然に防止する。	年度当初に情報セキュリティ研修を実施した。不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施する。行政事務調査を受け、個人情報、情報機器の持出についてルールに基づいて適切に管理した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い・酒気帯び運転を防止する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施した。長期休業中の事故防止について注意喚起を行った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	施設設備の定期点検、管理物品の定期点検を確実に行う。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した研修を実施した。管理物品の点検を、年間を通して計画的に実施した。

財務事務等の適正 執行	私費会計の適切な執行 いて、適切な管理を徹底し、不祥事を未然に防止する。	私費会計基準等を活用した研修を実施した。私費会計の執行について、年度途中と年度末に点検し、不祥事防止に努めた。
----------------	---	---

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

全ての課題について、計画通りに不祥事防止に取り組み、不祥事の未然防止につなげることができた。今後は、人権を大切にした児童生徒への対応、職員間の良質な同僚性の向上、属人的な対応とならないための校務分掌業務のマニュアルの整備、総括教諭を中心とした各部署の危険予知の意識向上に向けた情報共有の機会の拡充を進めていきたい。